石川植防
'26.10.01
広報活動資料

農研第７２５号
令和８年１０月１日

各関係機関　御中

石川県農林総合研究センター所長
（　公　印　省　略　）

病害虫発生予察情報について

令和８年度病害虫発生予報第７号を下記のとおり送付します。

連絡先　石川県農林総合研究センター
中央普及支援センター　病害虫防除室
電　話　076-257-6972（直通）
ＦＡＸ　076-257-9140
E-mail　kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp

病害虫発生予報第７号

（予報期間：１０月上旬～１０月下旬）

予報内容

果　樹

カキ炭疽病の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

野菜・花き

軟腐病の発生は**やや多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

シロイチモジヨトウの発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

ハスモンヨトウの発生は**やや多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

※ 病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止を徹底する。

―気 象 予 報―

１か月予報　（令和８年９月２４日付け　新潟地方気象台）

予報期間　９月２６日～１０月２５日

［確率予報］

気　　温	低い	１０％、	平年並	４０％、	高い	５０％
降 水 量	少ない	３０％、	平年並	４０％、	多い	３０％
日照時間	少ない	３０％、	平年並	４０％、	多い	３０％

［概要］

向こう１か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。

・９月２６日（土）～１０月２日（金）

秋雨前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

・１０月３日（土）～１０月９日（金）

天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

・１０月１０日（土）～１０月２３日（金）

天気は数日の周期で変わるでしょう。

注　1）発生量は平年比
　　2）（＋）は病害虫の発生に好適な要因、（－）は不適要因、
　　（±）は好適・不適に関与しない要因を示す。

１　麦類の病害虫

オオムギ雲形病

発生時期	越冬後
発生量	並
予報の根拠	(1)前作の発生は並（±）
防除上の注意事項	(1)種子の消毒を実施する。

オオムギ黒穂病類

発生時期	出穂後
発生量	並
予報の根拠	(1)前作の発生は並（±）
防除上の注意事項	(1)種子の消毒を実施する。

２　果樹の病害虫

カキ炭疽病

発生時期	連続発生
発生量	やや多
予報の根拠	(1)現在の発生は並（±）
	(2)気温は高い（＋）
	(3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)降雨前後の薬剤防除および罹病した果実の処分を徹底する。

３　野菜・花きの病害虫

軟腐病（ネギ、ブロッコリー等）

発生時期	連続発生
発生量	やや多
予報の根拠	(1)現在の発生は並～やや多（＋）
	(2)気温は高い（＋）
	(3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

ブロッコリー黒すす病

発生時期	収穫期
発生量	並
予報の根拠	(1)現在の発生は少（－）
	(2)気温は高い（＋）
	(3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)定植後３０日頃と発らい初期の防除を徹底する。
	(2)空気感染し強風後に感染拡大しやすいため、前後の防除を徹底する。

トマト灰色かび病

発生時期	連続発生
発生量	少
予報の根拠	(1)現在の発生は少（－）
	(2)気温は高い（－）
	(3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

トマトすすかび病

発生時期	連続発生
発生量	並
予報の根拠	(1)現在の発生は少（－）
	(2)気温は高い（＋）
	(3)降水量はほぼ平年並（±）
防除上の注意事項	(1)耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ネギハモグリバエ

発生時期	連続発生
発生量	やや少
予報の根拠	(1) 現在の発生は少（－）
	(2) 気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1) 発生初期の防除を徹底する。
	(2) 抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウ

発生時期	連続発生
発生量	やや多
	予報の根拠
	(1) 現在の発生は並（±）
	(2) フェロモントラップ誘殺数は並（±）
	(3) 気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

シロイチモジヨトウ

発生時期	連続発生
発生量	多
予報の根拠	(1) フェロモントラップ誘殺数は多（＋）
	(2) 気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

オオタバコガ

発生時期	連続発生
発生量	やや少
予報の根拠	(1)フェロモントラップ誘殺数は少（－）
	(2)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)若齢幼虫の防除を徹底する。

コナガ（アブラナ科：ダイコン、ブロッコリー等）

発生時期	連続発生
発生量	やや少
予報の根拠	(1)現在の発生は少（－）
	(2)フェロモントラップ誘殺数は少（－）
	(3)気温は高い（＋）
防除上の注意事項	(1)抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。